

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2025-03-01 No. 172

株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<https://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC & 安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary	2
IEC: 規格解説: CISPR 36 Ed. 1.1 電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性(2/3).....	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	12
UNECE: 車両規制調和世界フォーラム第 194 回会合報告書 (2/3).....	13
UNECE: 電気車両の急速充電能力を測定するための世界的に統一された方法論を開発へ.....	16
国際テーマ: コンピュータに関する米国エネルギースタートアッププログラムの新しい基準書.....	17
国際テーマ: アルゼンチンにおける適合性評価の変更.....	18
国際テーマ: EU: USB-C コネクタに関する欧州の新しいエコデザイン要求事項.....	18
国際テーマ: EU, EN 18031 (セキュリティ要求事項) を整合規格として欧州官報に掲載.....	19
国際テーマ: 中国における家電機器などの新版認証規則・規格.....	20
国際テーマ: Nemko 台湾の北米及び国際的認定の拡大.....	20
国際テーマ: インドネシア、2025/1/1 日以降に海外ラボが発行した試験レポートは使用不可.....	21
国際テーマ: インド、通信機器の一部の試験レポートに関する予定を延長.....	21
国際テーマ: バングラデシュの通信機器規制に関する最新情報.....	22
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲.....	23
<hr/>	
USA: FCC: KDB: 5.925~7.125 GHz 帯 U-NII 6 GHz デバイスの証明取得要求事項.....	24
USA: FCC: KDB: C-V2X システムを利用しているパート 90 デバイスの機器認可.....	24
USA: FCC: Liberty Defense Technologies 社の FCC 規則の一部の適用免除を認める.....	25
USA: CPSC: 電池の誤飲による危険から子どもを守るため警告を強化、Apple 社と合意.....	26
USA: CPSC: 適合証明書の電子申告(eFiling)を導入する最終規則を承認.....	27
USA: DOE: トランプ政権の影響: 家庭用電気製品の価格引き下げなどに向けて行動.....	27
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知.....	28
USA: EPA: エネルギースタートアッププログラム: コンピュータ基準バージョン 9.0 が公表.....	30
USA: ANSI/UL: 新規格リスト.....	30
USA: IEEE: 新規格リスト.....	32
<hr/>	
EU: 無線機器のセキュリティに関する規格、EN 18031 シリーズが無線機器指令の整合規格に.....	34
UK: 低電圧機器に関する指定規格の変更が正式に告示.....	36
EU: CENELEC: 新規格リスト.....	36
EU: ETSI: 新規格リスト.....	38
オーストラリア: AS/NZS 新規格リスト.....	39
<hr/>	
中国: CNCA: 電気自動車用給電機器への強制性製品認証管理の実施に関する公告.....	39
中国: CNCA: 家庭用及び類似用途の機器: 強制性製品認証規格の切り替え関連作業の明確化.....	40
中国: CQC: デジタル機器用モバイル電源の認証への認証規格 GB 40165-2021 の追加.....	41
中国: CQC: 家庭用及び類似用途の機器の CCC 認証における新版規格の実施に関する通知.....	41
中国: CQC: LED モジュール用 DC または AC 電子制御装置の安全性および電磁両立性認証.....	42
中国: CQC: ライトポストとライトコードの安全及び電磁両立性の認証規則の改訂通知.....	42
中国: CQC: 家庭用及び類似用途の固定電気装置用スイッチの強制性製品認証新版規格.....	43
中国: CQC: 家庭用及び類似用途のプラグ・ソケットの強制性認証に関する規格の新版等.....	44
中国: CQC: コードセット製品の強制性認証への新版規格及び新版認証実施細則の実施.....	44
中国: 新規格リスト.....	45
台湾: BSMI: 「5G スマートポール自主性製品認証実施規則」を改正.....	48
台湾: BSMI: 「電気冷蔵庫の許容エネルギー消費基準及びエネルギー効率等級の表示等」.....	49
台湾: 新規格リスト.....	49
韓国: 「簡易無線局・宇宙局・地球局の無線設備等の技術基準」一部改正 (案) 行政予告.....	50
韓国: 電磁波適合性試験方法改定発行: 公告第 2024-100 号.....	51
韓国: 電気用品安全基準 23 種改正案行政予告: 家庭用および類似の電気機器の安全性等.....	51
韓国: 電気用品安全基準 7 種改正(案) 行政通達.....	52
韓国: KS 新規格リスト.....	52
<hr/>	
総務省: 令和 6 年度無線設備試買テスト中間報告 (第 2 次) の公表.....	53
総務省: 電波利用環境委員会報告概要(CISPR 会議の審議結果)から抜粋で報告(1/3).....	53
経済産業省: 日本産業規格 (JIS) を制定・改正しました (2025 年 1 月分、2 月分).....	57
経済産業省: 電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部 (整合規格の採用等).....	58
ちよっといっふく~小クイズコーナー 欧州無線機器指令の新規整合規格について.....	23
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐水試験についてのご案内.....	33
社長の独り言.....	59



[IEC: 規格解説: CISPR 36 Ed. 1.1 電気およびハイブリッド電気道路車両 - 無線妨害特性\(2/3\)](#)

[UNECE: 電気車両の急速充電能力を測定するための世界的に統一された方法論を開発へ](#)

- ユーザーや購入希望者が関心を持つ重要な質問は、急速充電ステーションで一定時間内にEVを充電できる実際の走行距離は何キロメートルかということである。UNECEは、EVの急速充電能力を測定するための世界的に統一された手順と、それを所有者、消費者、一般大衆に伝える方法を開発することに合意した。

[USA: FCC: 5.925~7.125 GHz 帯で動作する U-NII 6 GHz デバイスの証明取得要求事項](#)

[USA: EPA: エネルギースタープログラム: コンピュータ基準バージョン 9.0 が公表](#)

- 2025年1月8日、米国環境保護庁(EPA)の大気放射局からエネルギースタープログラムのコンピュータに関する製品基準バージョン9.0が発表された。2025年10月27日から、エネルギースターマークを付けるコンピュータはバージョン9.0に適合しなければならない。

[EU: 無線機器のセキュリティに関する規格、EN 18031 シリーズが無線機器指令の整合規格に](#)

- 2025年1月30日付け欧州官報にて告示された委員会実施決定(EU) 2025/138により、無線機器の共通セキュリティに関する要件、EN 18031 シリーズが無線機器指令の整合規格に追加された。上記告示の日から有効となっている。但し、これらの規格の一部の条項、特にデフォルトパスワード、育児・玩具用無線機器のアクセス制御メカニズム、および金融取引のためのセキュアなアップデートに関する要件が、認証(authentication)におけるリスクに十分に対応していないと判断されたため、制限付きでの整合規格となっている。

[中国: CNCA: 電気自動車用給電機器への強制性製品認証管理の実施に関する公告](#)

- 中国 SAMR は、電気自動車用給電機器に対する強制性製品認証(CCC 認証)管理の実施を決定した。電気自動車用給電機器の CCC 認証について、2025年3月1日より認証申請の受付が開始される。認証業務を担当する機関や試験所は別途発表される。

[総務省: 電波利用環境委員会報告概要\(CISPR 会議の審議結果\)から抜粋で報告\(1/3\)](#)

- 情報通信審議会 情報通信技術分科会(第185回)が下記のように開催され、配付資料・議事概要・議事録が発行された。その内、「資料185-4-1 電波利用環境委員会報告概要(CISPR 会議の審議結果について)」の内容を抜粋で報告する。これは総務省及び関連諸氏の努力で非常にわかり易い資料であり国民に有益なものとなっている。

日時: 令和7年2月13日(木) 14:00~

場所: web 会議による開催

- CISPR 会議は、令和6年11月5日から11月15日までの間、Web 会議において開催(A小委員会は10月21日から10月25日まで東京(日本)において、D小委員会は10月14日から10月16日までブダペスト(ハンガリー)において開催)。我が国からは、総務省、各研究機関、各大学、各試験機関及び各工業会等から39名が参加。

IEC: 規格解説: CISPR 36 Ed. 1.1 電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性(2/3)



Summary

CISPR 36 Ed. 1.1(2023-05) 電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性 – 30 MHz 未満の車両非搭載受信機の保護に対する限度値と測定方法。本 CISPR 36 版 1.1 には、第 1 版 (2020-07) と、その修正 1(A1) (2023-05) の内容が含まれている。

1 適用範囲

車両から 10 m の距離の位置にある車両非搭載受信機を保護するための車両からの (150 kHz から 30 MHz の周波数範囲の) 最大放出 emission の限度値 (3 m の測定距離における) を規定する。電気車両およびハイブリッド電気車両の駆動源は、従来は「トラクションバッテリー」と称していたが、修正 1(A1) により「再充電可能なエネルギー貯蔵システム」に変更された。

4 放射妨害の限度値

車両は、準尖頭値検波器の磁界強度限度値に適合すること。但し、時間節約のため、最初に尖頭値検波器による事前スキャンを実行し、それが準尖頭値検波器の磁界強度限度値に適合すればそのまま合格とすることができる。

5 測定方法

5.1.1 測定受信機

測定受信機 (FFT ベースの測定機器を含む) は、CISPR 16-1-1:2015 の要件に準拠すること。

5.2 測定サイトの要件

代替試験サイトの要件

代替試験サイトは、吸収体で覆われたシールドエンクロージャ (ALSE) とオープンエリア試験サイトである。その周囲磁界要件として、周囲騒音レベルは、条項 4 で規定されている妨害波の限度値より少なくとも 6 dB 低いこと、または、車両(この文書で規定されているとおりに動作させ)からの放出と周囲雑音の組み合わせは、本規格の限度値に適合すること。

5.4 試験対象物の条件

「推進 "Propulsion"」モードの動作条件: 電気車両またはハイブリッド電気車両は、負荷をかけないでダイナモーター上で、または非導電性のアクスルスタンド axle-stands 上で、電動モーターのみで駆動される状態で試験すること。

付属文書 A (~~規範的~~、~~参考的~~)測定計装の不確かさ

本付属文書 A は、この文書で説明されている測定方法に対する測定計装の不確かさを評価するためのガイダンスを提供している。本付属文書では、不確かさの評価に測定計装のみを考慮している。

付属文書 B (参考的)磁界強度の放射妨害測定に対する不確かさバザット

代表的な不確かさバザット – 距離 3 m – ループアンテナ (例: ALSE 用) (サイトの不完全性 (OTS) または ALSE) に関連する不確かさは、これらのバザットでは考慮されていない)

拡張不確かさ (in dB): $U(H) = 2u_c(H) = 4,13 \ 4,35$

本解説では、修正 1(A1) によって技術内容が変更された箇所が、追加は緑色のテキストにより、削除は赤色の取り消し線により示されている。すべての変更を反映した別個の最終版は、この出版物の中の後半部で入手できる。

電気およびハイブリッド電気道路車両 – 無線妨害特性 – 30 MHz 未満の車両非搭載受信機の保護に対する限度値と測定方法 レッドライン版

公式 IEC 規格とその修正からなる本統合版は、ユーザーの利便性のために作成された。CISPR 36 版 1.1 には、第 1 版(2020-07)と、その修正 1(A1)(2023-05)の内容が含まれている。

5 測定方法

5.1 測定機器



株式会社コスモス・コーポレーション

自動車部品の耐水試験についてのご案内

当社では自動車部品に対する耐水試験が実施可能です。

(JIS D 0203 対応)

対象試験記号: R1 / R2 / S1 / S2

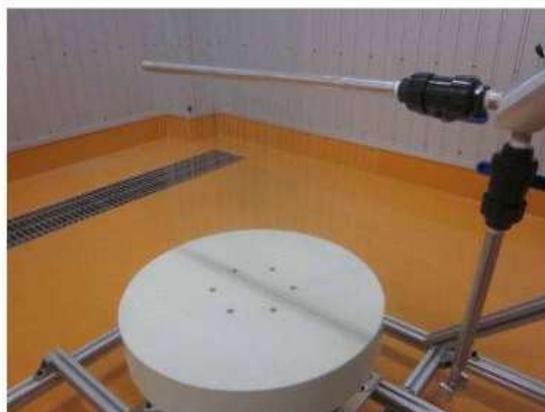
評価実施内容

散水試験	R1・・・ 水滴に触れることのある部品の機能を調べる試験
	R2・・・ 間接的に風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
噴水試験	S1・・・ 直接風雨又は水しぶきを受ける部品の機能を調べる試験
	S2・・・ 強い受水状態について部品の機能を調べる試験

R1 及び R2



S1 及び S2



耐荷重: 45kg まで試験実施可能です。

許容サンプルサイズ: 実施可能サンプル寸法は規格に従い、基本的に 40cm の高さで設定していますが、それ以上の寸法であっても対応可能な場合もございますので、指定のサンプルサイズを事前にご連絡下さい。

松阪事業所 : 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718-1

URL : www.safetyweb.co.jp E-mail : sales@cosmos-corp.com

【お問い合わせはCS部まで -- TEL:0598-30-5225(直通), FAX:0598-30-5571】

株式会社コスモス・コーポレーション

社長の独り言

2025年2月10日
濱口慶一

近年稀に見る大寒波で大雪の地域もあるようです。道路が滑りますのでタイヤなどに対策を講じていただくとともに、これから春にかけて気温が上がってきますと雪下ろしなどでの事故のおそれもあります。該当する地域の皆様はお気を付け下さい。

2011年頃に手術を受けた腰のヘルニアの再発でしょうか、元旦から立てない、歩けない日々が続きました。病院で診察を受けました。神経痛と診断され、貼り薬や飲み薬ではほとんど改善しませんでした。当時手術を受けた後に付けていたコルセットをすると、かなり楽になりました。ただ同じ動作を1時間くらい継続するのはまだ苦痛です。私の2025年のスタートはこのような状況です。

1月に外国機関の監査(ISO/IEC 17065)の監査を受け、特にコメントもなく無事に終わりました。監査員からの助言としてのコメントをいくつか聞きましたが、それを一つずつ考えてみると、当社は民間企業としての製品評価・認証業務サービスプロバイダーで良かったということと、長岡科学技術大学で学んだシステム安全工学を活かすと強く感じます。当社は、評価・認証サービスに関するISO/IEC規格が整備されていない時から活動しているために、初期の製品評価・認証システム設計が現在のISO/IEC規格の考え方と大きく異なる部分があり、そのようなシステムの部分を改良することが必要になります。特に、要員の評価・認証に対する適切な力量の保証と監視、教育、訓練、専門知識、技能、経験、及び権限付与の記録の維持が厳しく求められていることから、“Original Evidence Based Safety System”を構築していこうという方針はこれにマッチしていると思います。また、評価システムの中に“目視評価”作業を義務づけてきたことも正しい選択だったと思います。スタッフは経験が多くなると、我流で作業を進めるケースが出てくる場合もありますが、社内のルールに従った、社内の業務フローに忠実な作業を強く要求していきます。評価・認証サービス会社には、ISO/IEC 17020、ISO/IEC 17021、ISO/IEC 17025、ISO/IEC 17065が基本的に求められていることを全社員が理解できるようにしたいと思います。

電気用品調査委員会に設立されている事件事例調査部会に先日委員として参加しました。その中で話題の一つとして、コンピュータに設けられたUSB TYPE Cコネクタによる電力供給において、コンピュータ側のソフトでかなりの大電力が出力できるものがあるとのことでした。これがリチウム電池とのマッチング不良となった場合に過充電での事故が多く起きているとの指摘が出ました。また半田付け不良での火災事故の報告もありました。自動半田槽の温度管理の不良なども話題に上りました。特に赤色の半田レジストでは赤色発色のために“リン系の材料”を使用していて、リンの発火で火災となった機器もあったようです。製品開発・設計時に十分ご注意ください。

また、電気用品安全法での別表第十二におけるJIS規格のIEC規格への整合化に関わる検討の中で、JIS等公的規格の整備が進まず、整合規格が採用できない等の課題があり、こうした課題に対応するために、今年度に“いつ”、“誰が”、“何を”かを整理したアクションシートを取りまとめるそうです。2028年度には整合化できるよう、業界でのJIS原案作成、当該JISの別表第十二への反映や、“バスケットクローズ規格”の整備を始めるとの発言がありました。バスケットクローズ規格は、“既存規格及び通則では、技術基準省令に定める技術的要件を満たすことができない電気用品に対して、共通的に活用できるような整合規格”であるとのことです。今後、経済産業省からのメールマガジンでのお知らせにはご注意ください。

趣味の養蜂ですが、今年の桜の開花の頃に日本蜜蜂の捕獲の準備をしようと計画しています。

- ニュースレターの内容

本誌は、EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation) 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国際機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU 及び UK, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

- 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレーション CS 部 (カスタマーサービス部) まで Yamashita-jun@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行: 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格: 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

- 本誌の内容案内、ご購入案内は、<https://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレーションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO: European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター EMC & 安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2025-03-01 (No. 172)

発行所: 株式会社 コスモス・コーポレーション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1

ホームページ: <https://www.safetyweb.co.jp/>

発行人: 濱口慶一

編集人: 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2025 株式会社コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。